

た + す + と

2009年11月

第9号

市民活動や地域活動をしている方、
これからしたいと思っている方に役立つ
情報を隔月で発信しています。

●もくじ●

- P 2 丘の上“はじめの一步”応援団
多賀城『支え合いの会』
- P 3 市民が集える広場を紹介しませ
リフレーヌ
- P 4 つながるチカラ
多賀城MOTTAINAIプロジェクト
- P 5 **事務用ブース入居団体募集中**
たがサポブックレビュー
『名作コピーに学ぶ読ませる文章の書き方』
- P 6 **たがサポ事業紹介**
『たがサポ』とは？
『たがサポ』の機能って？

今月のひとコマ



思わず見逃してしまいそう。
でも大事なコーナーです。

→詳しくは下のコーナーへ

秋は市民活動団体のイベントが多くなる一方、来年度の助成金の募集が増える時期でもあります。たがサポ1階の廊下には『助成金情報』のコーナーを設けています。

ここには、主に市民活動団体を対象とした最新の助成金情報を掲示しています。週1回、スタッフが選りすぐり情報を収集して更新しています。気になる助成金があれば専用ラックをチェックしたり、スタッフに声をかけていただければさらに詳しい情報を手に入れることができます。

小さなコーナーですが、皆さんが活動する上で重要な資金に関する情報です。助成金を上手に使えるれば組織の人材育成や活動のステップアップにもつながります。また、申請書の書き方や事業内容の提案、プレゼンテーションの進め方にもスタッフがいつでも相談にのります。

活動資金でお困りの方や団体の活動をさらに広げたいとお考えの方はぜひご活用ください。

丘の上 “はじめの一步” 応援団

たがサポには市民活動・地域活動に関する相談が日々寄せられています。「何か活動してみたい。活動先を教えてください。」という問い合わせから「イベントになかなか人が集まらない。広報のコツを教えてください。」という団体運営に関するものまで、相談の内容はさまざまです。窓口での相談を活用して、元気に活動している団体を紹介していきます。第1回目は、多賀城『支え合いの会』さんです。

支え合いをかたちに

こうさかようこ

多賀城『支え合いの会』代表 向坂洋子さん

●市民がつくるあたたかな場所

「介護体験を語りましょう」という会が9月27日（日）たがサポで開催されました。

参加者は12名。介護経験者の体験談を中心に、これまで大変だったことや感謝の気持ちなどを、目に涙を浮かべながら話す人もおり、あたたかな共感の輪が広がりました。またこの日は市の保健師の方も参加し、介護保険の手続きや、地域包括支援センターの紹介などの情報提供もありました。

この会を主催しているのは、多賀城『支え合いの会』です。代表の向坂洋子さんは、昨年10月「絵手紙を通じて何か活動はできませんか。」と相談に来館され、今年4月に多賀城『支え合いの会』を立ち上げました。

●思いをかたちに

向坂さんは、昔に比べて地域内の交流が弱くなったことに不安と寂しさを感じていました。また、母の介護経験から人が助け合うことの大切さ、介護する人の心のケアの必要性を強く感じていたそうです。こうした問題意識から「残りの人生、何か人の役に立ちたい」との思いがあり、絵手紙講師の経験を活かすことで多賀城のまちに支え合いの輪を広げていけないものかと、来館されたのでした。

●たがサポと二人三脚

向坂さんの思いを受けて、スタッフは向坂さんとじっくり話し合いを重ね、新たな団体を立ち上げる道と共に選びました。それから5ヵ月間、向坂さんと一緒に以下のポイントから活動を組み立て、スタートさせることをめざしました。

①思い（動機）の整理…なぜその活動を始めるのか、誰のために、何をするのか。思いの中身を項目ごとに整理して、NPOに

とって一番大切な「使命（ミッション、団体が目指すもの）」を生み出しました。

②「できること」の棚卸し…活動に役立つ自分の得意技をスタッフとの話を通じて明らかにしていきました。向坂さんの場合、活動を支える切り札が「絵手紙教室」の講師経験でした。

③活動の道筋をつくる…向坂さんがやりたいことを実現するために、何をいつまでに実現し、そのための準備には何が必要なのか。スタッフがアドバイスをしながら、活動が花開くまでの工程表を一緒に作っていきました。何をすれば良いのかわからないという不安も、こうして解消していきました。

④活動の評価と見直し…4月に活動が始まった後も、イベントを実施する度にその振り返りをスタッフと実施し、次のイベントに向けた準備を繰り返しています。

⑤仲間集め…どんな活動にも、その目的に賛同し、ともに支えてくれる仲間の存在が不可欠です。向坂さんの活動に関心を持った方をスタッフが紹介し、共に活動を進めるきっかけを提供しました。

●一緒に支え合いの輪を広げていきませんか

多賀城『支え合いの会』の活動は、始まったばかりです。これからも仲間を募って活動を展開していき、ゆくゆくは通院や家事の支援など支え合いのしくみをつくることをめざしています。

地域の支え合いに興味のある方、何か自分のできることで協力したいという方、まずは思いを話しに来てみませんか。

多賀城『支え合いの会』

TEL・FAX:022-367-4071(向坂さん)

市民が集える広場を紹介します

多賀城市内には市民活動サポートセンター以外にも、市民活動団体・町内会・生涯学習団体の皆さんが利用できる場所があります。公民館などの公共施設が思い浮かびますが、実は自宅などの個人所有のスペースを地域に開放しているところもあるのです。

今回は当センターからも近い『リフレーヌ』をご紹介します。



うれしいことはみんなで、
楽しいことはいっしょに。

はらや
リフレーヌ 原谷せつ子さん

●人をつなぐ架け橋

旭ヶ岡にひときわ印象的な家があります。表には『リフレーヌ (Refrene)』という看板が見えます。ここはオーナーの原谷せつさんの自宅でもあり市民の集まりどころでもあります。『リフレーヌ』はいわゆるフリースペースと呼ばれる小さな部屋で、コンサートやホームパーティー、ワークショップなどさまざまな用途で利用することができます。グランドピアノが設置されていて防音設備も充実しています。最近ではボイストレーニングの講座やクラシックコンサート、モダンバレエの練習などにも利用されています。

ここは市民の「はじめたい」「学びたい」「伝えたい」「何かしたい」といった思いが集う場所でもあります。講座やイベントを開催したい市民と、それに参加したい市民が『リフレーヌ』を通して出会います。文化活動の新たな拠点として多くの市民に利用されています。

●介護から得た宝物

原谷さんが『リフレーヌ』を始めたまっかけは、母の介護経験にあります。介護を続ける中で健康の大切さに気づき、自分だけではなくみんながいつまでも元気に健康でいられるにはどうしたら良いかと考えました。そこでコーディネーショントレーニングと呼ばれる体を使った脳トレーニングの指導者の資格を取り、高齢者向けの教室を開くことになったそうです。自宅前の道路拡張工事のため家

を建て直すのを機に自分の教室だけでなく、より多くの人に利用してもらおうと考え『リフレーヌ』を作ったのが平成18年4月。名前には心も体もリフレッシュしてほしいという思いが込められています。

『リフレーヌ』がオープンして知り合い以外の人が自宅を訪れる機会も増えましたが、原谷さんは特に気にする様子はありません。子どもから高齢者まで、みんながこのスペースを楽しく使うことを望んでいるそうです。このように自宅の一部を地域に開放することによって、みんなが集う新たな公共空間が生まれました。

●ご近所や家族に支えられて

原谷さんが多賀城へ移り住んだのは昭和55年。その頃から人々のお付き合いを大切にしています。最近では隣の住人も知らないというケースも多いですが、原谷さんのご近所はみんなお友達だそうです。「何かあったとき支えてくれるのは隣近所の方。皆さんに見られているからこそ自分もしっかりしなくちゃいけない。」と話しています。一方で家族からの支えがあってこそ、自分がやりたいことをやらせてもらっていると実感しているそうです。

ご近所関係を大事にする、家族を大事にするという原谷さんの姿勢が『リフレーヌ』を運営する支えになっているのかもしれない。みなさんも市民による市民のための集まりどころに一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

リフレーヌ

多賀城市中央2丁目14-11
TEL: 022-368-3189(原谷さん)
利用時間 9:00~21:00
受付時間 9:00~18:00
ホール 1時間525円

つながる チカラ

「たがサポ」が開館して、それまで個々に活動してきた団体が連携し、同じ事業に取り組んだり、新たな活動を始めたといった事例がみられるようになりました。つながることが市民活動の強みであるともいえます。

今回は活動を始めたばかりの『多賀城MOTTAINAIプロジェクト』さんに、設立の経緯と今後の活動についてお話を伺いました。

エコでつながって、まちを盛り上げよう。

多賀城MOTTAINAIプロジェクト

●今年の“悠久の詩都（まち）の灯り”はいつもと少しちがうらしい

多賀城駅前広場の木々を電球で飾る“悠久の詩都の灯り”は今年で4回目の開催となります。11月23日に行われる点灯式では、音楽のステージや屋台が出て駅前に賑わいが生まれます。今年は新たに「フードドライブ」がプログラムに加わります。

「フードドライブ」とは、家庭であまっている生鮮物以外の食料品を寄付してもらい、福祉施設など支援を必要としている人のところに提供する取り組みのことです。この企画は“悠久の詩都の灯り”を主催するTAP多賀城を中心とした『多賀城MOTTAINAIプロジェクト』が実施しています。

このプロジェクトは、“悠久の詩都の灯り”に市民が参加できるしかけをつくり、環境に配慮したエコなライフスタイルを呼びかけていこうというものです。現在はフードドライブ実施に向けて、全国的に活躍している団体を招き、環境問題を身近なものとして考えてもらうきっかけづくりの勉強会を実施しています。

●プロジェクトの仕掛け人たち

プロジェクトの呼びかけ人は、東北ろうきん多賀城支店の北尚登さん。仕事柄さまざまな機関とつながりがあったり、プライベートでも市民活動に関わっています。多賀城駅前の活性化に取り組むTAP多賀城にも注目していたそうです。「地域やまちに関心のある団体や人がつながることによって、地域や社会を変える大きな力になるのではないか」と思ったのがこのプロジェクトを考えた始まりでした。

声をかけられたのは、多賀城駅前の活性化のためさまざまな仕掛けをしているTAP多賀城。代表の佐藤雅博さんは「環境はだれも

が関心のあるテーマ。環境にやさしい暮らしをしようを思っている、どう行動しているのかわからないという人が多いと感じていました。今回のプロジェクトはだれもが参加しやすい内容だったので、TAP多賀城として取り組むことになったのです。」と、北さんの提案を受けたそうです。

TAP多賀城も“悠久の詩都の灯り”で利用する電力をグリーン電力に変更するなど、環境に配慮したものを取り入れ始めたところでした。今回のプロジェクトを進めていく上で、メンバーにとっても気づきが多いようです。

世界で通じる日本語“もったいない”を合言葉につながった『多賀城MOTTAINAIプロジェクト』。楽しく、気負わず、つながるをモットーとしているこのプロジェクトにあなたも参加してみませんか。

※グリーン電力とは：

風力、太陽光、バイオマス、マイクロ水力、地熱などの自然エネルギーで発電された電気や、これを選んで購入するしくみのことをいう。自然エネルギーからの電力は、二酸化炭素を排出しないことによる地球温暖化防止や枯渇しないエネルギーであるといった価値を持っている。グリーン電力証書という仕組みを利用することで導入できる。

【今後のプログラム】

- ◆11月13日(金)18:00~19:30
会場:市民活動サポートセンター
「セカンドハーベストジャパン理事長による講演会」
- ◆11月23日(月)14:00~
会場:多賀城駅前広場
「悠久の詩都の灯り点灯式 フードドライブ実施」
- ◆2010年2月20日(土)16:00~18:00
会場:市民活動サポートセンター
「プロジェクト解散報告交流会」

多賀城MOTTAINAIプロジェクト
(運営主体:TAP多賀城)
TEL:090-2368-4318(担当:加藤さん)

事務用ブース 入居団体募集中



市民活動共同事務室の事務用ブースに入居する団体を追加募集いたします。

◆入居期間

平成21年12月1日～平成22年11月30日

※上記期間は第1期の入居期間です。

最長で3年間の入居が可能です。

※年度更新にあたっては毎年審査を実施します。

◆募集期間

平成21年10月1日（木）～10月31日（土）

◆使用料 月／1,000円

◆申込方法

申請に必要な書類はたがサポ窓口でお渡しします。たがサポにご来館の上、お申し込みください。

◆審査会

申請団体を対象に審査会を行います。

日時：平成21年11月5日（木）18：30より

＜事務用ブースとは？＞

市民活動団体の簡易事務所として活用できるスペースです。パーテーション（仕切り板）で仕切られたブースに事務机とイスが備えられています。ブースの広さは約4㎡です。

使用可能期間の上限となる3年間に、たがサポのスタッフが団体の困りごとなどのサポートもしっかり行います。

たがサポブックレビュー

「たがサポ文庫」の中から、スタッフおすすめの1冊を紹介します。



『名作コピーに学ぶ 読ませる文章の書き方』

著者：鈴木康之

発行：日経ビジネス人文庫 発行日：2008年7月



★L-014ハウターの棚にあります

せつかくなので、冒頭でなにか気の利いたコピーでも！と思ったのですが、にわか仕込みの頭では、出てくるのは駄文ばかり。そう、いい文章ほど書くのは簡単ではありません。でも難儀なことに、書くこと以上に難しいのは、それを読んでもらうことです。

そこで、書いたモノを最後まで読んでもらえる工夫が大事になってくるのですが、その心は…。

“読んだ人がトクをする話を書く”、もう一つ、“なるほどと納得させる言葉を書く”、ということだそうです。

短くても「なるほどね」を引き出す文章は、思ったよりも手軽に作文できるものです。それを書き留めておいて、ゆっくり書き直しながら名句に育てていけば、それがいつかオリジナルの名作コピーになるかもしれません。

募金を集めたい、イベントの集客をしたい、活動の仲間を増やしたい、だけと思ったほど効果が出ない、というときは、チラシにコピーを入れてみてはいかがでしょうか。自分たちの熱い思いをコピーにして伝えてみるのも面白いかもしれません。

本書でプロのコピーライターの名句を読んでみてください。平たい言葉なのに、ストレートに胸に響くものがあります。その言葉のつむぎ方の手法が惜しみなく披露されています。【沼倉久子】

■たがサポ文庫

情報サロン内にある市民活動に関する図書・雑誌が貸出・閲覧できます。

■図書販売コーナー

NPO・市民活動団体が発行する図書（報告書、パンフレット等）を販売しています。

詳しくはお問い合わせください。

●お預かりします：NPO・市民活動団体が発行する図書等をお預かりし、市民の皆さんへ販売をしています。自分たちの活動を広く知ってもらう機会となるだけでなく、団体の収益にもつながります。

●購入できます：一般の書店では見つけにくい団体の書籍もあります。購入していただくことで、団体をより深く理解することができるのと同時に、団体の支援にもつながります。



たがサポ事業紹介

平成21年度に「たがサポ」で行う講座やイベントをご紹介します。みなさんのご参加をお待ちしています！



●NPOいちから塾

NPOについて知りたい方へ、わかりやすくお伝えする講座です。NPOの基礎情報と、毎回テーマを決め、テーマに沿った活動の紹介もします。

日程:11月19日(木)19:00~20:30

テーマ:「地域づくり」

●マネジメント講座

市民活動団体や町内会、自治会、生涯学習団体の組織運営に必要な知識やコツをお伝えする講座です。

日程:12月12日(土)午後

テーマ:「知っておきたい組織内の役割分担」

講師:特定非営利活動法人

せんだい・みやぎNPOセンター

代表理事 加藤哲夫さん

さぼせん 広場

in 多賀城市役所(10/26~11/6)

in 高橋地区生活センター(11/12)

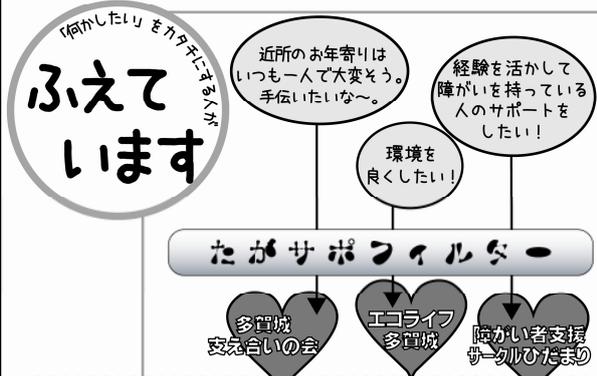
in たがじょう市民市(11/15)

今回は、多賀城市役所ロビー(10/26~11/6)、高橋地区生活センター(11/12) たがじょう市民市(11/15)に出陣します！遊びに来てね！！

さぼせん広場今年のテーマは、

たがサポって、何をするとところなの？ たがサポで何かができるの？

を、↓のようなパネルでわかりやすく展示しています。



このパネルの続きはさぼせん広場で！

今後のさぼせん広場：下馬地区・大代地区へ出陣する予定です。

■『たがサポ』とは？

市民の皆さんが行うまちづくりや地域づくりにつながる活動を総合的に応援することを目的として設置した施設です。市民・自治会・学校や企業の皆さんとの間で協働によるまちづくりを推進することも目的としています。

開館時間:月~土曜日 午前9時から午後9時30分まで

日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで

休館日:毎週水曜日(水曜が休日の場合、翌日)

年末年始(12月28日~1月4日)

交通案内:JR仙石線多賀城駅より徒歩12分

駐車場・駐輪場があります

■『たがサポ』の機能って？

①市民活動の場の提供

- ・貸室(有料)
市民活動の研修やイベント、会議等に使用できます。
- ・交流サロン(予約不要・無料)
少人数の打ち合わせや事務作業などに利用できます。
- ・レターケース(無料) ※利用申込受付中
- ・ロッカー(200円/月) ※利用申込受付中
- ・事務用ブース(1,000円/月)
- ・印刷作業室
印刷機(用紙持ち込み/1製版100円/500枚)
コピー機(10円/枚)

②市民活動に関する情報の収集・提供

- ・情報サロン
市民活動に関するさまざまな情報があります。
チラシ・ポスターの受付、図書(閲覧用)、
助成金情報、ボランティア情報、パソコン
(作業・インターネット用/無料)

※団体紹介パンフレット・イベントチラシなどをお持ちください！

- ③市民活動に係る人材の育成・支援
- ④市民・企業・行政の連携及び交流の推進
- ⑤市民活動に関する相談への対応



多賀城市市民活動サポートセンター事務局の
スタッフによるブログです。ぜひご覧ください！

<http://blog.canpan.info/tagasapo/>

■たがサポは皆さんに支えられています

- 自動販売機の設置
たがサポ内に設置している自動販売機の売り上げの一部は、多賀城市内の市民活動の推進のために使われます。協力企業:宮城中央ヤクルト販売(株)
- 印刷作業室のコピー機
印刷作業室のコピー機は、コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社との市民活動を応援するという趣旨により、社会貢献価格にてご提供いただいています。



□発行:多賀城市市民活動サポートセンター
〒985-0873 多賀城市中央二丁目25-3
TEL:022-368-7745 FAX:022-309-3706

□発行日:2009年10月20日

□編集:特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター